

中部の新道路ネットワーク ビジョン

2007年12月

～「国際競争力強化」「環境への配慮」「既存インフラの活用」～

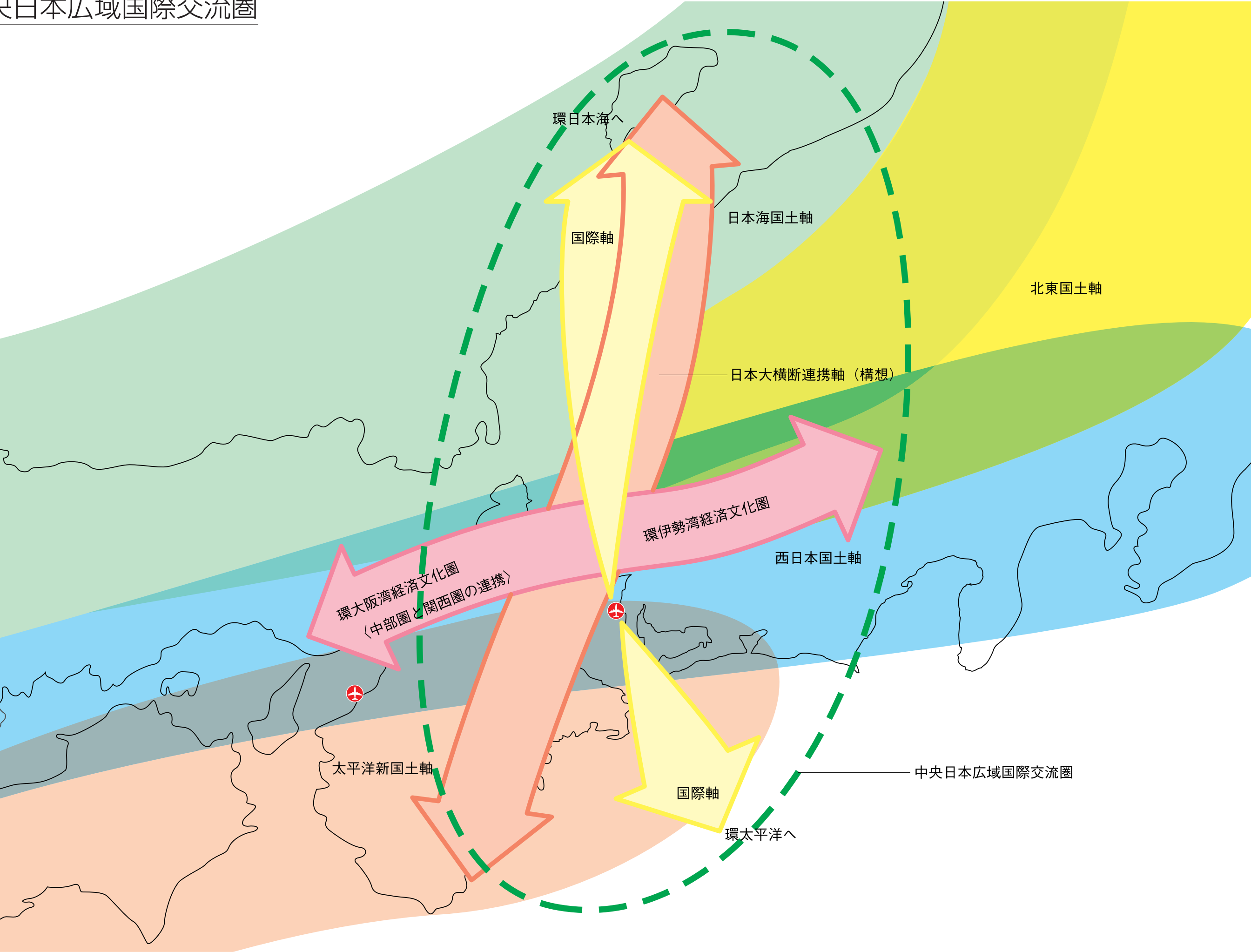
(社)中部経済連合会は、平成4年より過去4回にわたり幹線道路網構想を策定してきた。今回、国が道路整備の中期的な計画を作成することを踏まえ、(社)中部経済連合会においても、「国際競争力強化」「環境への配慮」「既存インフラの活用」の見地から、幹線道路網構想を見直し、中部の新道路ネットワークビジョンの改訂を行った。

本ビジョンにおいては、整備効果の大きい路線を明示するために、以下のような路線区分をしている。

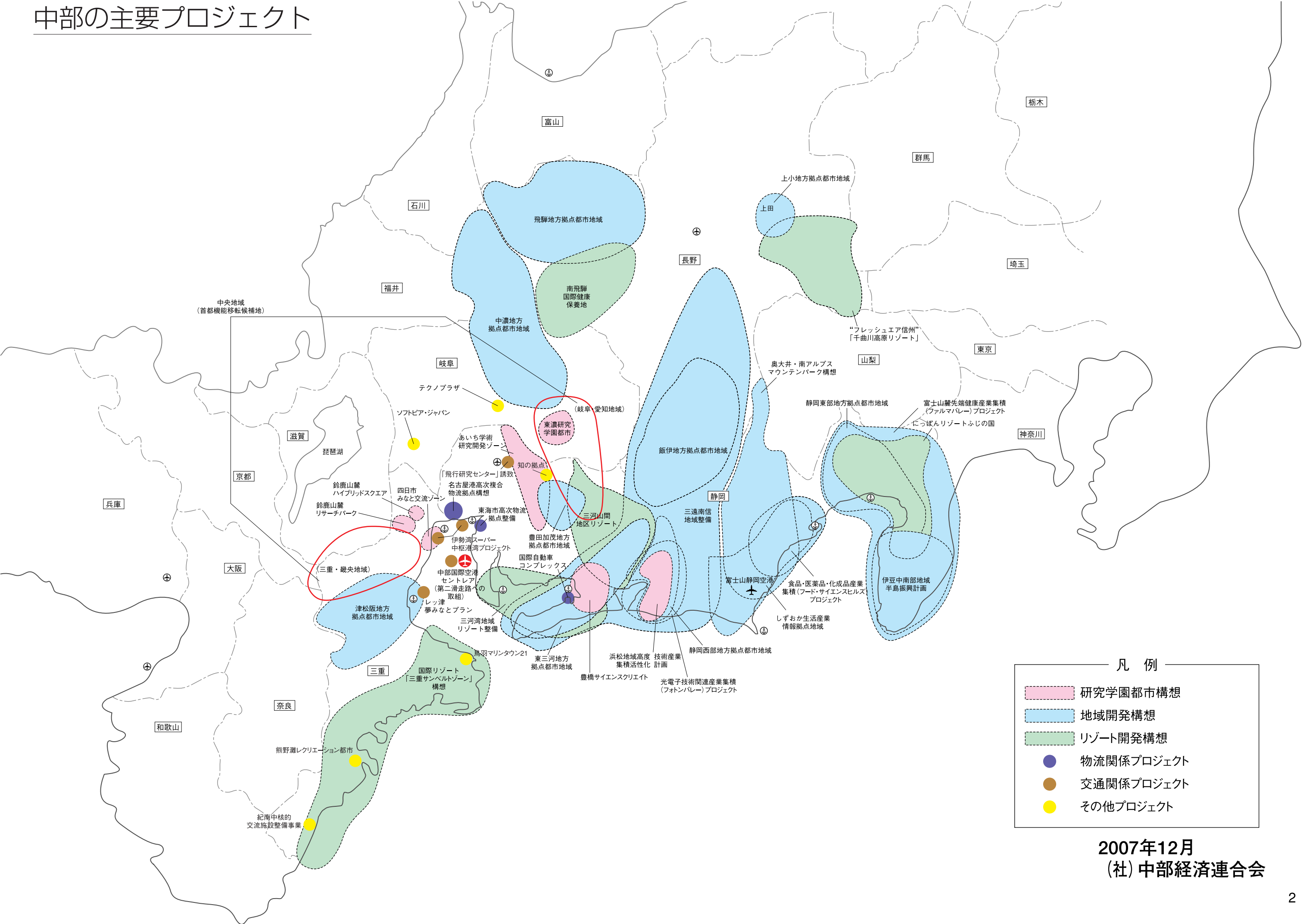
重点推進路線	事業を継続し、または必要性が極めて高い早期開通を図る路線
整備推進路線	整備区間、水準の見直しを含めた調査・検討を行っている路線で、早期開通を図る路線
早期事業化路線	事業主体等の基本的条件を含め、事業の具体化について検討を進め、事業着手を図る路線

C	中央日本広域国際交流圏	1
O	中部の主要プロジェクト	2
N	中部の新道路ネットワークビジョン（国土の骨格を形成する路線）	3
E	中部の新道路ネットワークビジョン（国土の骨格を形成する路線を補完する路線）	4
N	中部の新道路ネットワークビジョン（2020年目途の供用路線）	5
T	中部の新道路ネットワークビジョン（名古屋周辺図）	6・7
S		

中央日本広域国際交流圏



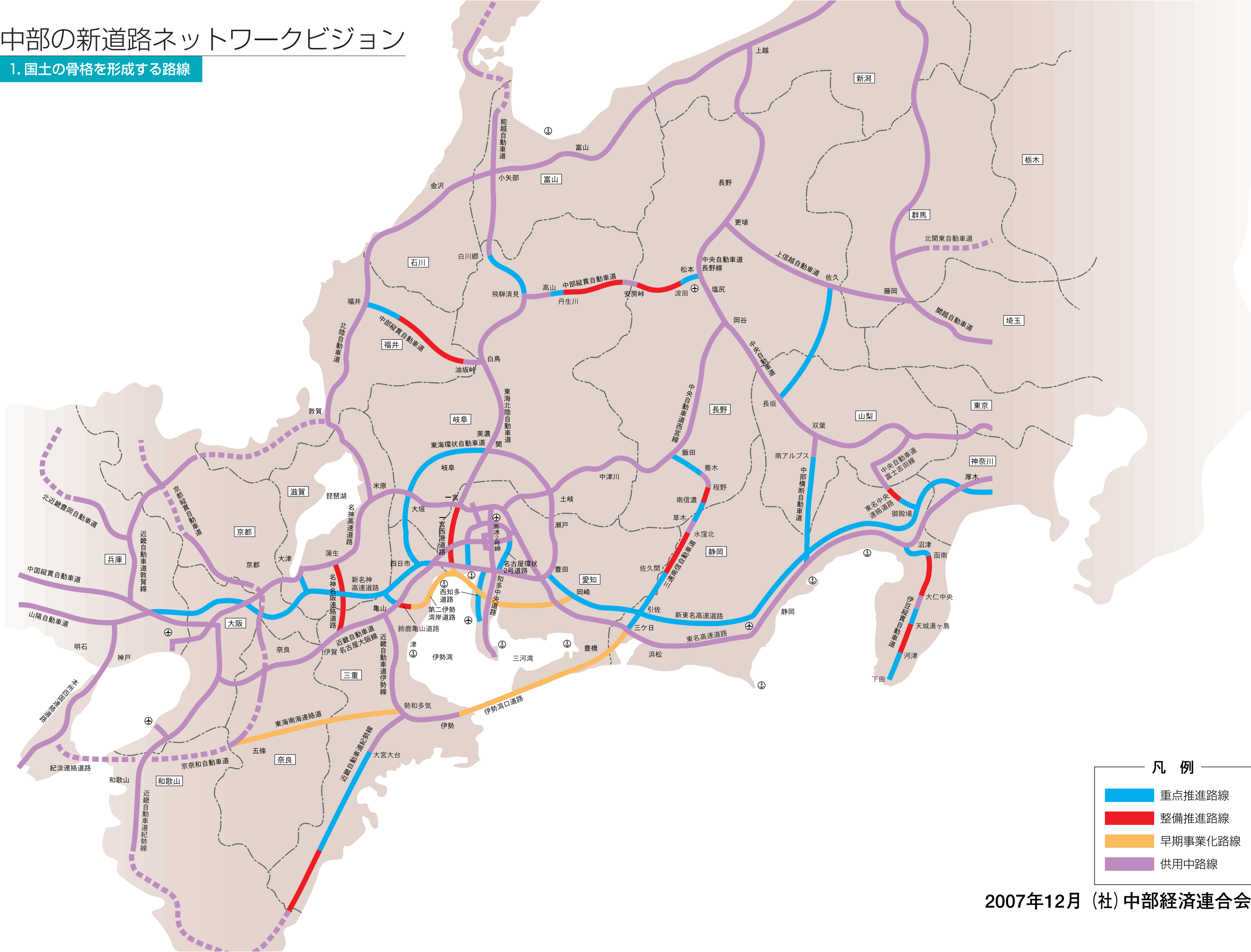
中部の主要プロジェクト



2007年12月
(社) 中部経済連合会

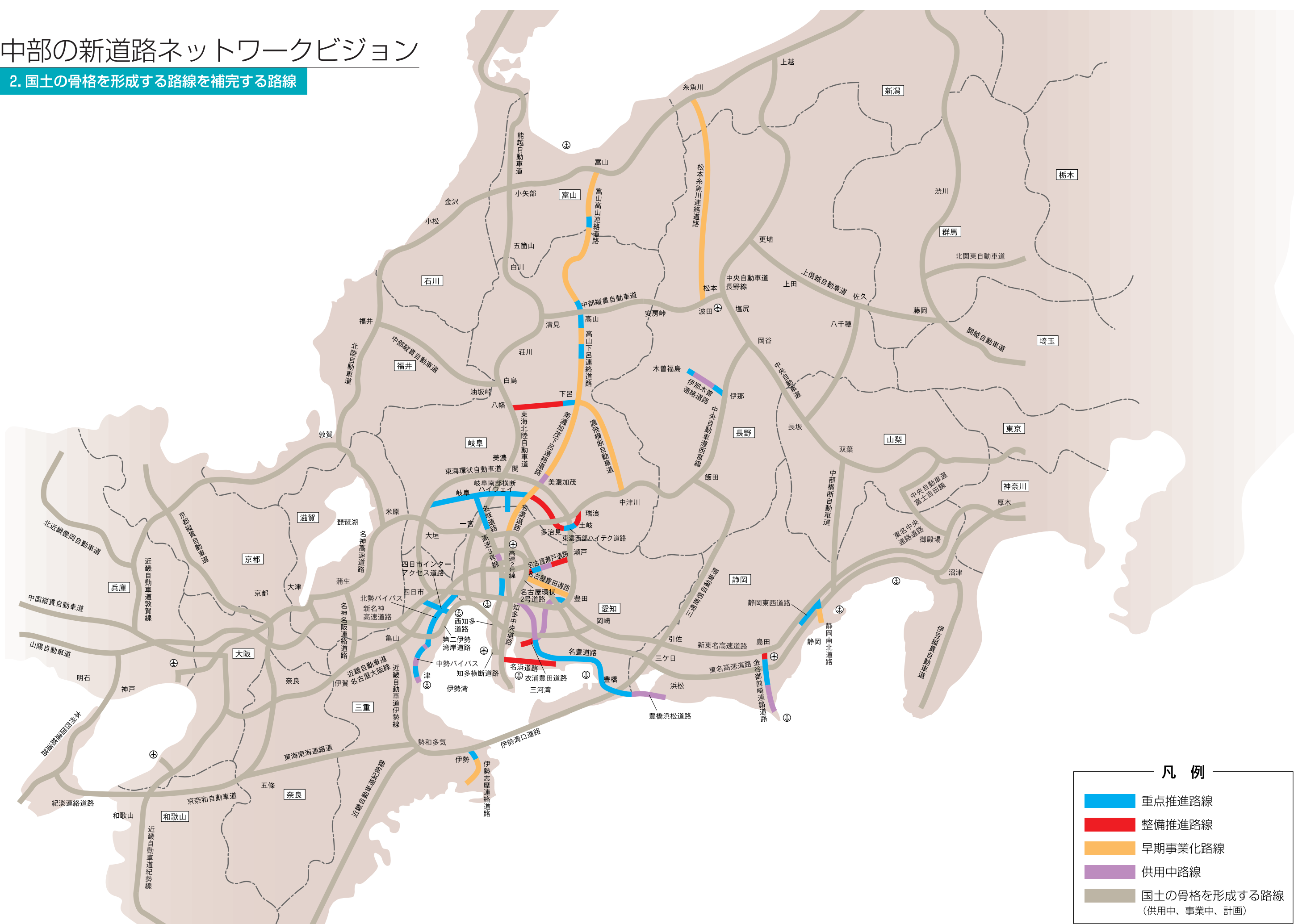
中部の新道路ネットワークビジョン

1. 国土の骨格を形成する路線



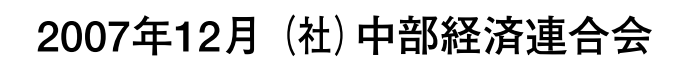
中部の新道路ネットワークビジョン

2. 国土の骨格を形成する路線を補完する路線



2007年12月 (社) 中部経済連合会

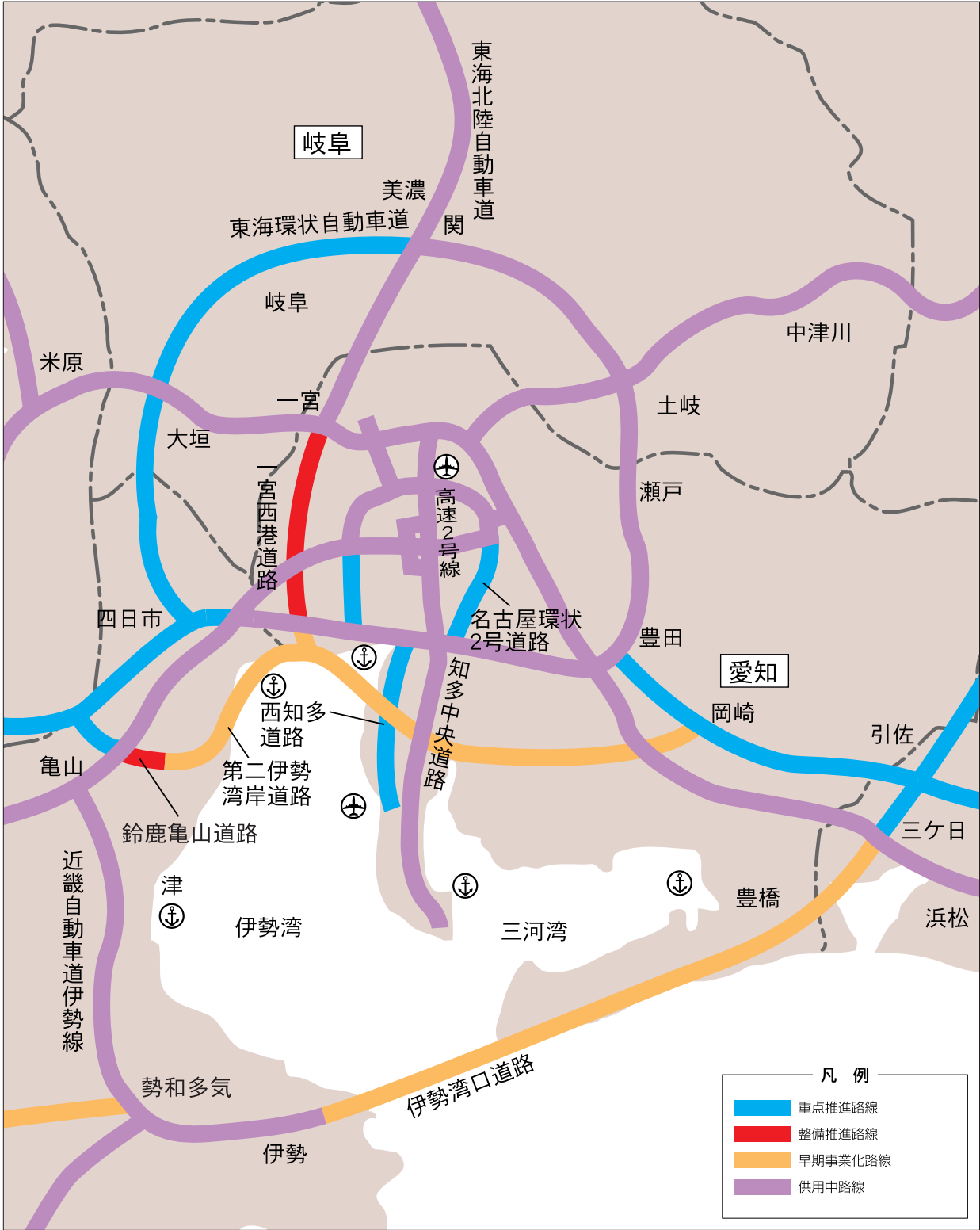
3. 2020年 目途の供用路線



中部の新道路ネットワークビジョン

名古屋周辺図

1. 国土の骨格を形成する路線



2. 国土の骨格を形成する路線を補完する路線



中部の新道路ネットワークビジョン

名古屋周辺図

— 3. 2020年目途の供用路線 —

